



真岡市議会議員

お世話になります！

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.64



市民と市政のかけ橋になりたい！
☆お気軽にお声をかけて下さい。
あなたのアイデアを市政にいかしたい！
お友達との井戸端会議、勉強会等。
もお伺いいたします。
お気づきの点がございましたら、どんなさいなことでも結構です。
ぜひご意見を！



皆様のご支援により

市議選でトップ当選

史上最多
2473票



4月21日(日)に投開票が行われた真岡市議会議員選挙において、5期目を目指した中村が、史上最多となる2473票を獲得し、トップ当選を果たしました。

今回の選挙戦を通じて、中村はテーマとして『2040年 輝く未来であるために 一今、まちづくりをモデルチェンジ』を掲げ、本格的な人口減少時代において持続可能な地域づくりに向けた17の政策を訴えました。

皆様からの1票1票に込められた熱い気持ちを受け止めながら、初心を忘れることなく、これから活動も全力で展開していきたいと考えております。(裏面に関連記事)

会派『もおか新時代』を結成しました

市議選直後に、議会内の会派結成が行われ、中村は3名の議員(池上正美議員、春山則子議員、七海朱美議員)とともに新しい会派『もおか新時代』を結成。その代表を務めることとなりました。

これまでの4年間は、無会派で活動を続けてきた中村ですが、従来とは違った角度から議員活動を展開し、ひいては議会の活性化にも寄与していきたいと考えております。

今後とも、皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。(議会の新しい構成は中面に掲載)

改選前の活動報告

2月定例議会報告 2/20▶3/13

2月定例議会が、2月20日(水)から3月13日(水)にわたって行われました。

今回、執行部から提出された議案は『平成31年度当初予算』のほか、『真岡駅子ども広場の設置及び管理条例』の制定(真岡駅内の『情報センター』が『子ども広場』に変更)、『老人憩いの家設置、管理及び使用条例』の廃止(根本山の『老人憩いの家』の廃止)など計39件で、いずれも原案通り可決されました。

この中には、市公民館・市民会館・青年女性会館について指定管理者制度導入を進める条例改正も含まれています。

また、市民の方々から市議会に提出されていた『精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求める要望書』については一部採択、『国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願書』については不採択となりました。(新年度予算は中面に掲載)



今回は、議長として最後の定例議会でした

「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

次回発行予定期
8月4日(日)
次回の「中村かずひこ通信」は
次回発行予定期
8月4日(日)

これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、
「中村かずひこ通信」を発行してきました。1~63号までを見
逃された方は、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお送りさせていただきます。

初の 600億円台 真岡市 平成31年度 当初予算が決定

総額は 607億4,442万7千円(前年比 67億3,393万1千円増)

平成31年度 会計別予算額

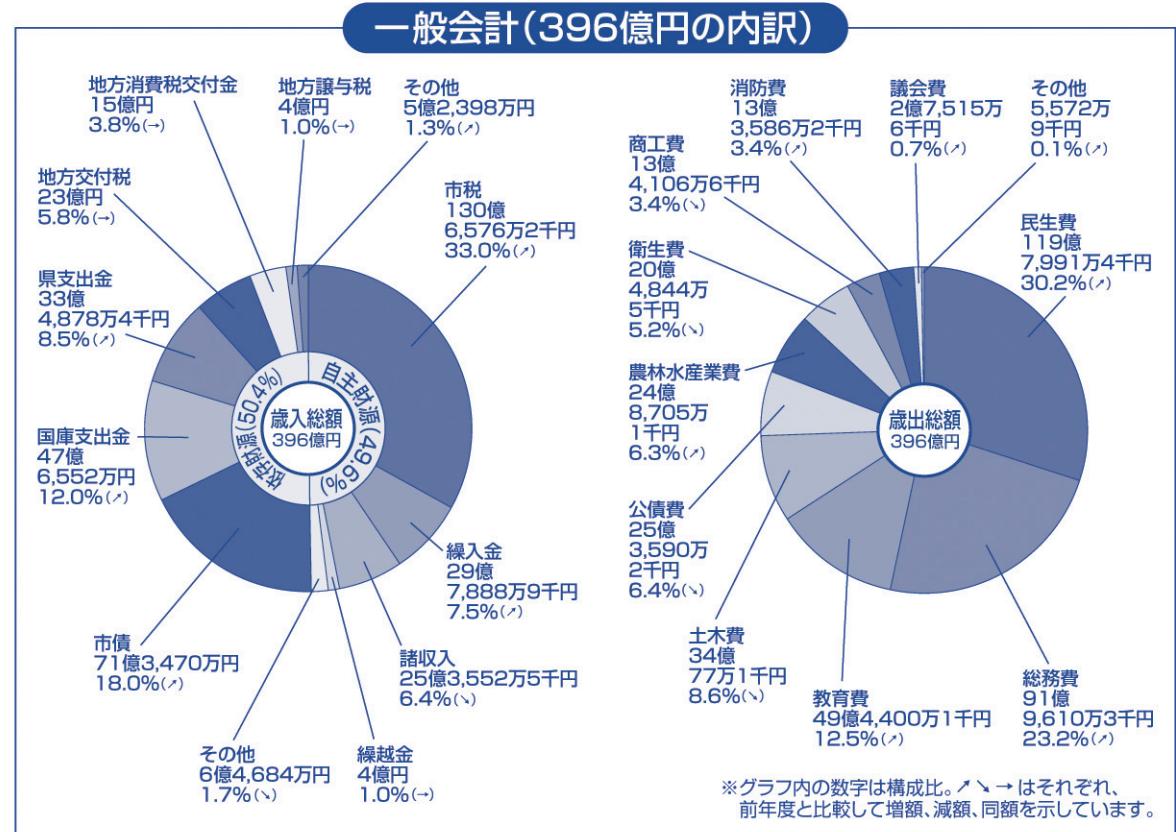
区分	平成31年度予算額
一般会計	396億円
国民健康保険	91億4,591万円
後期高齢者医療	7億5,483万1千円
介護保険(保険事業勘定)	61億5,880万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,429万3千円
休日夜間急患診療所	6,799万2千円
公共下水道事業	21億4,483万9千円
農業集落排水事業	5億85万8千円
計	187億8,752万3千円
水道事業会計	23億5,690万4千円
合計	607億4,442万7千円

How much?

真岡市の市債償還予定額
(今後、市が返さなくてはならない借金)

総額 468億5,304万1千円
(前年比 9億3,821万8千円減)

一般・特別・
水道事業+利子含む
(平成29年度末現在)



中村かずひこ活動日誌

1月

- 4日 市職員仕事始め式
- 5日 真岡中学校昭和63年度卒業生同窓会
- 6日 大谷地区男性料理の会
- 7日 贊詞交歓会
- 8日 叙勲者の会新春の集い
- 市議会議員OB会新年会
- 10日 女性団体連絡協議会新年会
- グループホーム尊徳運営推進会議
- 12日 真岡市消防団出初式
- 13日 成人式
- 14日 もおか“いちご”フェスタin有楽町(於:東京都 有楽町駅前)



1/14 もおか“いちご”フェスタin有楽町にて

- 15日 「ひばりの会」定例会
- 16日 議会だより編集委員会
- 社会福祉大会
- 17日 部課長会新年会
- 18日 真岡地区区長会との懇談会
- 20日 母子寡婦福祉会新年会
- 各若合同新年会
- 21日 あいさつボランティア
- 22日 県央6市市議会議長会(於:下野市)
- 石坂真一市長『新春の集い』
- 24日 交通安全市民大会
- 真岡青年会議所総会
- 27日 地域公民館芸能発表会
- 史跡桜町陣屋跡の保存と活用を考える会総会
- 28日 あいさつボランティア
- 30日 「全国いちごサミットinもおか」実行委員会
- 農業再生協議会総会

2月

- 1日 会派代表者会議
- 真岡東中学校立志式
- 2日 市民のつどい
- 3日 横浜ストロベリーフェスティバル「真岡市民デー」(於:横浜市 赤レンガ倉庫)
- 4日 あいさつボランティア
- 5日 「ひばりの会」定例会
- 6日 真岡新聞音訳作業(「ひばりの会」の活動として)
- 7日 北方領土返還要求全国大会(於:東京都・国立劇場)
- 8日 予算内示
- 9日 芳賀赤十字病院新病院竣工記念式典
- 10日 子籠敏人・あさる野市議会議長と面会
- 台町団子連30周年記念式典
- 11日 佐藤勉衆議院議員『新春のつどい』
- 塚原毅繁・宇都宮市議会副議長「後援会総会」(於:宇都宮市)
- 13日 会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 芳賀赤十字病院新病院を視察
- 真岡青年会議所例会
- 臺若役員会
- 15日 とちぎ次世代研究会ミーティング(於:宇都宮市)
- 並若総会
- 16日 あいさつボランティア
- 質疑一般質問調整会議
- 真岡会『市政懇話会』
- 優秀社員及び技能検定試験合格者表彰式
- 2月定例議会開会
- 20日 田上貴氏叙勲祝賀会
- 真岡自然観察会
- 八月の会「今、次世代に伝えたいこと」
- 臺若総会



2/23 真岡自然観察会にて

- 24日 日本傳統空手道修道壇門會創立50周年記念式典
- 増山敬之県議『新春の集い』(於:栃木市)
- 25日 あいさつボランティア
- 青色回転灯搭載車による防犯パトロール
- 質疑一般質問1日目
- 質疑一般質問2日目
- 議員協議会
- 議会活性化等検討委員会

3月

- 1日 芳賀地区広域行政事務組合定例議会
- 4日 あいさつボランティア
- 5日 民生文教常任委員会1日目
- 6日 民生文教常任委員会2日目
- 7日 総務常任委員会1日目
- 8日 総務常任委員会2日目
- 9日 真岡中学校卒業式
- 大谷地区会計監査
- 11日 あいさつボランティア
- 12日 予算審査特別委員会
- 真岡青年会議所OB会総会
- 13日 会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 2月定例議会閉会
- 議会だより編集委員会
- 14日 天皇陛下御即位30年奉祝栃木県民の集い(於:宇都宮市)
- 16日 真岡地区遺族会役員会
- 17日 もおかいちごフェスタ2019
- 18日 あいさつボランティア
- 19日 もおか鬼怒公園開園式
- 真岡西小学校卒業式
- 農業振興地域整備促進協議会
- 20日 那須塩原市君島寛市長市民葬(於:那須塩原市)
- 22日 真岡消防署二宮分署竣工式
- 真組総会
- 23日 合併10周年記念式典



3/23 合併10周年記念式典にて

- 24日 熊倉4区総会
- 本城稻荷神社例大祭
- 25日 真岡市社会福祉協議会評議員会
- 26日 行屋川桜まつり点灯式
- 28日 真岡市リサイクルセンター竣工式
- 29日 退職職員辞令交付式
- 県議会議員選挙告示
- 30日 総合運動公園乗り物エリア完成記念式典
- 大前神社御社殿国重要文化財指定記念式典
- 真岡地区遺族会総会



臨時議会報告 5/15

5月15日(水)に臨時議会が行われ、新しい議長に星野守議員(4期)、副議長に渡邊隆議員(3期)が選出されるなど、改選後の議会における主だった人事が決定しました。



議会の構成

議長

星野 守

副議長

渡邊 隆

常任委員会
総務
民生文教
産業建設

◎日下田喜義、○鶴見 和弘、柴 惠、野沢 達、
星野 守、荒川 洋子、中村 和彦

◎春山 則子、○池上 正美、大貫 聖子、櫛毛 隆行、
大瀧 和弘、柳田 尚宏、飯塚 正

◎服部正一郎、○七海 朱美、麦倉 竹明、渡邊 隆、
藤田 勝美、久保田 武、佐々木重信

◎櫛毛 隆行、○久保田 武、服部正一郎、日下田喜義、
春山 則子、柴 惠、荒川 洋子、中村 和彦

◎委員長 ○副委員長 ※『議会だより編集委員会』のメンバーは、議長、副議長、議会運営委員会と同じ

会派の構成

◎代表者 ○副代表者

真岡自民党議員会

◎柴 惠 ○大瀧 和弘 ○久保田 武 麦倉 竹明
大貫 聖子 服部正一郎 日下田喜義 鶴見 和弘
櫛毛 隆行 渡邊 隆 野沢 達 星野 守

もおか新時代

◎中村 和彦 ○池上 正美 ○荒川 洋子 ○柳田 尚宏
春山 則子 七海 朱美 藤田 勝美

勇和会 公明

日本共産党

自由民主党

佐々木重信

各種委員等

監査委員(議会選出)	野沢 達
芳賀地区広域行政事務組合議会議員	渡邊 隆、星野 守
真岡市表彰審査委員会委員	柴 惠、荒川 洋子、中村 和彦
真岡市営住宅入居者選定委員会委員	渡邊 隆、佐々木重信、春山 則子
真岡市国民健康保険運営協議会委員(公益代表)	池上 正美、日下田喜義、鶴見 和弘、 櫛毛 隆行、大瀧 和弘、柳田 尚宏
真岡市環境審議会委員	大貫 聖子
真岡市立小中学校学区審議会委員	麦倉 竹明、大貫 聖子、鶴見 和弘、 大瀧 和弘、藤田 勝美
真岡市民会館運営審議会委員	七海 朱美、野沢 達
真岡市都市計画審議会委員	服部正一郎、久保田 武、柴 惠、 飯塚 正

リサイクルセンター完成に伴い
平成31年4月1日から

家庭ごみ・資源ごみ 分別方法変更

せん定枝・落ち葉・草を分別収集し、再資源化します。



3/28に行われたリサイクルセンター竣工式

これまで

太さ5cm以内のせん定枝・落ち葉・草
→燃えるごみ
太さ5cmから15cmまでのせん定枝
→その他・粗大ごみ

これから

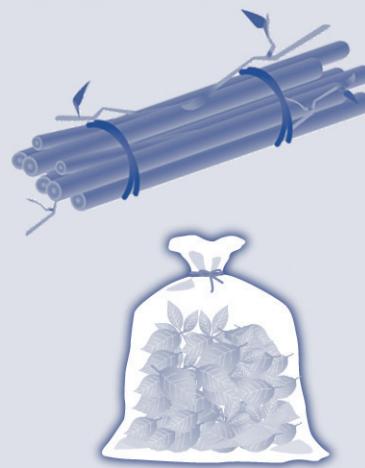
せん定枝・落ち葉・草

※家庭から排出されるものに限ります。

分け方 出し方 収集無料

《せん定枝》

- 太さ15cm以内、長さ150cm以内にして、
ヒモで束ねてください。
- 一束の重量は、大人1人で持てる
重さとしてください。



《落ち葉・草の出し方》

- 透明または半透明のビニール袋に
入れてください。

【集積所】燃えるごみステーション

【収集日】月1回 ※各地域の日程は「家庭ごみ・資源の分け方・出し方」でお知らせします。

アンケートにご協力をお願いします

「市政アンケート」皆様の声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函
(投函する際、切手は不要です。)

料金受取人払郵便

真岡局承認

769

差出有効期間
2020年8月4日
まで
(切手不要)

321-4390

103

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行



市政アンケート

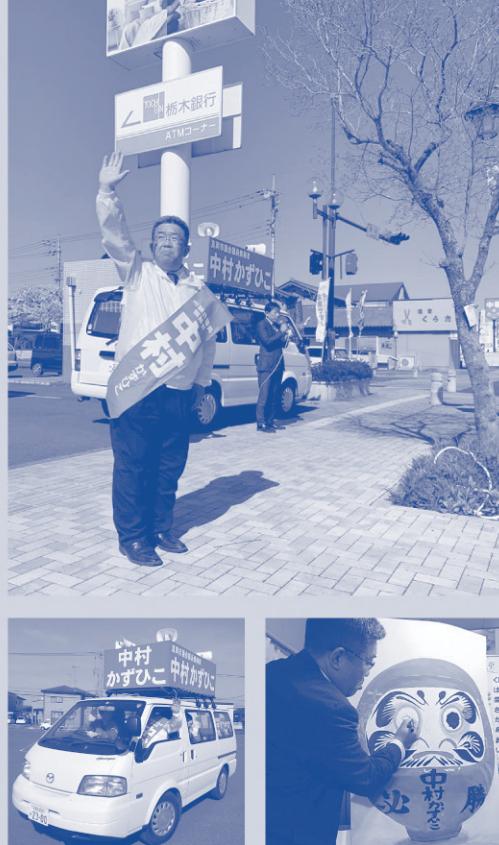
差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

お名前	
ご住所	(〒 - - -)
お電話	
Eメール	



2019 市議選活動費

『選挙ってどのくらいお金がかかるものなの?』16年前に初めて市議選にチャレンジした時から、そんな素朴な疑問を抱いてきました。5回目となった今回の選挙戦も、期間中にかかった活動費について報告し、皆様からのご意見をいただければと考えております。



1. 収入の部

項目	金額	備考
金銭寄付	675,000円	38件

このほかに、飲み物や茶菓子など35件の物品寄付(125,000円相当)をいただきました。

2. 支出の部

項目	金額	備考
人件費	244,750円	車上運動員(ウグイス嬢)
家屋費	11,669円	事務所家賃(7日分)
印刷・広告費	287,480円	公選ハガキ印刷代、看板など
文具費	20,000円	コピー機レンタル代
食糧費	109,887円	運動員弁当代
電気・水道料	1,383円	
雑費	8,492円	
合計	683,661円	

ただし、選挙期間以外の活動費として、会員拡大用リーフレットなどの印刷代やレンタカー代(選挙カーとして借りた車の公費補助以外の費用)など786,000円程の支出がありました。

※『会員拡大用リーフレット』など、政治団体の活動に見なされる支出については次号で報告します。
※返還された供託金、公費負担となったポスター代などは支出に含めておりません。

『このハガキではスペースが足りない!』という方は、メールでもご意見を受け付けております。

↓tonpei@i-berry.ne.jp 全て中村が読ませていただきます。

キリトリ線---

市政アンケート

未来の真岡を
こうしよう!

私が考える
真岡の課題…

真岡にはこんな
魅力がありますよ♪

あなたの声をお聞かせください!

キリトリ
線---



頂いたご意見は全て拝見し、今後の活動に活かしてまいります。
ご協力ありがとうございました!

コラム すーむあうぶ

私にとって5回目の市議選が終わり、早いもので1ヶ月が経過した。

2473票を獲得し、トップ当選。しかも、歴代の真岡市議選で最高記録だった16年前の私の得票(2415票)をも上回ることができた。大変光栄であるのと同時に、これまでにも増して責任の重さを感じている。

この選挙戦で、私は『2040年 輝く未来であるために一今、まちづくりをモデルチェンジ』というテーマを掲げたが、多くの方々から『2040年』にはどういう意味が込められているのか?とのご質問を受けた。

今から21年後の2040年は『第2次ベビーブーム世代』が一斉に65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎える。加えて、その時の真岡市の人口は約6万7千人。市町合併した際の旧二宮町分にあたる人口が減少すると推測されている。

そうした将来の課題を視野に入れながら、いかにして持続可能なまちづくりを展開させていくのか。今回、17の政策を『中村的マニフェスト』として掲げ、皆様にお訴えしました。

政治に携わる者にとって公約は、言わばまちづくり・国づくりのための“設計書”である。それが、曖昧な言葉の羅列であってはならない。その中身について、多くの方々からご支持をいただけたことは、今後の活動を進めていくにあたって、力強い追い風になったと思っている。

皆様の想いを追い風に

この選挙戦では、期間中に候補者である私が、よりによって自陣営の選挙カーと接触し、救急車で搬送されるという前代未聞の出来事があった。

幸いにも軽傷で済み、次の日には運動を再開することができたが、そうしたことを経験したこともあり、多くの方々の支えと励ましが、これまで以上に身に沁みた今回の選挙戦だった。

身のまわりのお知り合いに声をかけていただいた方。ポスター貼りや選挙カーの運転に時間を割いていただいた方。連日にわたって声がかかるまでウグイス嬢として頑張っていただいた方。忙しい公務の合間を縫って応援に駆けつけてくれた他市町の議員仲間。そして何より、自分が悩んでいる時、落ち込んでいる時に最も近くで励ましてくれた仲間や家族…。また、選挙期間中、手を振ってくれたり、車中からクラクションで声援を送ってくれたりした皆様からの激励も本当にありがたかった。

そうした方々に対して恥じることのない議員活動をしていかねばならない。

さて、選挙直後に議会内では会派の結成が行われた。私もこれまでの4年間は無会派だったが、3名の議員と新しい会派『もおか新時代』を結成し、その代表を務めることになった。

昨年度、市議会で議長という仕事を経験させていただき、同僚議員達とともに議会の活性化に取り組んだ中で、会派や常任委員会といった“組織を切り口とした活性化”は、これから先、真岡市議会として何としてもやらねばならないという想いを抱き続けてきた。

慣れぬことばかりのため、悪戦苦闘することもあるかも知れないが、これまでとは違った角度から、選挙時に掲げた公約の実現と議会活性化に挑んでいきたい。